

きんもくせい

~We Love Sakai~



発行者：さかい女性ネット (SJN)

TEL：070-2181-9001

<http://kinmokusei7.webnode.jp/>

2016年 6月 NO.10

美味しいさし茶を日本中に！世界に！ みんなで広げよう！！

境町のあちこちで茶畑の緑が濃い季節になりました。
境町は「さし茶」の産地として知られています。
「さし茶協会」会長の石山嘉之さんにお話を伺いました。石山さんは石山製茶工場の5代目で、自宅前には広々とした茶畑が広がっています。
「さし茶協会」(古河市、常総市、坂東市、八千代町、境町の3市2町)は「さし茶」の全国的、世界的な普及を目指しています。
「さし茶」は豪農中山元成の奔走で全国に先駆けて江戸後期にアメリカへの輸出に成功しました。

詳しくは「さし茶協会」のHPをご覧ください。
境町の茶の歴史に興味のある方は必見です。
石山さん曰く、
「町民がお土産や様々な贈答品として、さし茶を全国、世界にまで持ち出してほしい。そのことがさし茶の名を広めることにもなります」
昔から飲み物としての「お茶の薬効」は広く知られていますし、現在はお茶の石鹸やボディソープも売られています。
また、赤ちゃんのおむつかぶれや、病人の床ずれなどに、お茶をガーゼなどに浸してつけると効果があるそうです。是非お試しください。
家族の団らんの輪には「お茶」がありますし、お客様との談笑の中にも「お茶」があります。
「さし茶」を是非お楽しみください。



石山製茶工場の前に広がる茶畑



HP: <http://sashima-cha.jp/>

茨城から再び世界へ Re born さし茶

2016年3月、「さし茶」の西アフリカ「ニジュール共和国」への輸出が正式に決定しました。また、アメリカ市場再開プロジェクトがスタートするなど、日本で初めて海外に認められた「さし茶」は中山元成翁の思いを胸に、今再び世界へと羽ばたこうとしています。

※江戸時代の初期の頃から栽培が始められたと云われている「さし茶」の由来や、海外交易の歴史など、「さし茶」の全てがわかるガイドブックがHP上に公開されています。是非、ごらんください。

議員さんこんにちは♪ ~NO.9 須藤信吉議員~



70歳。当選3回。無所属。

教育福祉委員会 委員長

Q. 議員になられた動機は？

A. 境町が合併をしなかったことに関心を持ち、この先の境町の動きを観察しながら関わっていきたく感じた。

Q. 議会での審議や政策立案の為の意見収集はどのように？

A. 主に行政懇談会にて収集している。PTAの集まりや子供会、お祭りなどに参加し、現場で意見を募ることに心がけている。

Q. 町での取り組みについての意見は？

A. キャッチボールに例えると、今は「ボールを沢山投げている」状態。それに応えるように成果が返ってくることを目指していきたい。

Q. TPPについての意見は？

A. いろいろな分野の問題があるので一概には言えない。国会でも審議中であり、これからも注視していきたい。

Q. 最近の議会において、一般質問が少ないと感じるが、それについては？

A. 自分自身は肝炎を患い、治療のため思うような議会活動が出来なかったが、一般質問で課題として取り上げた事案を追及し続ける姿勢は大切。議員の責任であり、住民の皆さんの理解も得られると感じている。

Q. ご家庭で家事をなさっていますか？

A. 炊事以外は大体やる。夫婦の会話も多い方。

Q. 境町の若者に向けて何か一言。

A. いろいろな機会を捉えて、積極的に希望の持てる町づくりのための提案をして欲しい。

議会傍聴しましょう♪

境町議会・28年第2回定例会

6月7日(火)より開催される予定です。

詳しい日程は議会事務局へお問い合わせください。

(<http://www.town.sakai.ibaraki.jp/index.php>)

議会事務局 電話: 0280-81-1300

更生保護女性会境支部



入学式で1年生に記念品を配りました

更生保護女性会はこんな活動をしています

- 社会貢献活動への協力（立ち直ることをささえ、応援する）
- 更生保護施設「有光苑」に対する物心両面での援助
- 矯正施設収容者に対する援助（施設の行事等に参加・激励）
- 「ほっとけない運動」の推進。明るい社会づくりの実現。
- ミニ集会の開催（明るい地域社会づくりにつとめる）
- 子育て支援地域活動（地域ぐるみ、ネットワークづくり）
- 更生保護のこころの普及と愛の募金活動
- 関係機関・団体との連携（「社会を明るくする運動」や「ダメ・ゼッタイ」等の街頭キャンペーン、普及活動など）
- 研修研さん活動（更生保護活動を効果的に行うための研修や会員相互の親睦をはかる）

平成8年、保護司さんたちからの要請でスタートした更生保護女性会は、当時の猿島郡と古河市で設立され、77名の会員でした。趣旨はフツーのおばさんの心で、罪を犯した青少年の更生をお手伝いするもので、社会を明るくする運動、ミニ集会、研修、施設慰問などで、町民祭参加での愛の募金運動では皆様の目に留まったはずです。現在ではそのほかに境支部として入学時に「子育て10章」の配布、幼児を抱えるママたちの子育て支援グループ・スキップさんの活動時の保育も担当しています。

この更女も今年で20周年を迎え、先ごろ、古河市とねミドリ館で記念式典が開催されました。

全国顧問の狩野安さんや古河市長を迎えての華やかな会合となりました。少子化の今、いつの時代も子供たちは宝です。その子供たちの声がうるさいと都会では、保育所建設が難航しているとか、私たちフツーのおばさんには考えられない時代となっていました。ますます更女の活動が期待されますね。（文責 内海）



菜の花まつりで愛の募金活動

長井戸城跡 ～ 境の郷土史③ ～

長井戸城跡は、現在の長井戸香取神社を中心とした位置にあった。この居館は中世（鎌倉・室町・戦国期）の方形城館として貴重な遺跡である。

城の起こりは、1983年度より2カ年度にかけて行われた第一次・第二次の学術調査から屋形建築の柱（ちゅう）穴（けつ）、空堀、版築状の土塁から検出された遺構並びに「瓦器」「瓦質式土器」等の遺物によると、居館は12世紀～13世紀頃の鎌倉時代に築かれ、戦国時代まで在地豪族によって使われた可能性が高いと検証された。そして江戸時代になって

廃城となり、のちに香取神社が鎮座し現在に及んでいることがわかった。この居館は「東国闘戦見聞録」という軍記物によると、天文年間（1532～1554）には地元の城主菅谷左京の居城として栄えたが、天文23年（1553）に下野国小山朝政軍勢の攻撃を受けて、激戦の末に降伏し、隣の稲尾城主稲尾加賀守とともに小山の軍門に下ったと伝えられている。小山氏軍勢が下総へ侵攻した年次は、当時、北条氏康の勢力のもとに足利義氏を古河公方に擁立させるが、この事態に足利晴氏とその子藤氏が氏康及び義氏に反撃を試み、天文23年には晴氏父子の古河籠城事件が起こった。同時に義氏は小山の領地一部を重臣野田左衛門大夫に与えている（宛行）。

以上の理由により、小山氏は、足利晴氏方に号応して氏康・義氏を討つべき侵攻したものとみられる。菅谷氏は小山氏に降伏した後は、16世紀末朝鮮出兵（文禄・慶長役）や大阪の陣に当地の相良氏とともに参戦したが、その後は、当地に帰農している。菅谷家のご子孫の屋敷は城跡の北隣にあり、江戸時代初期の「変り兜」の具足一揃えが、境町歴史民俗資料館に保存されている。

なお、現在、長井戸城跡の周囲には、当時のたたずまい（居館）を思いださせる二重の土塁や「横矢かかり」が存在している。

（文責 郷土史家 中村正己）



八千代整骨院 境町489 TEL : 0280-87-6680



八千代整骨院境は境町に開院して7年になります。

現在、柔道整復師の先生を含め、資格を持った5人の先生が施術をしています。

柔道整復師のいる整骨院での施術には、健康保険、労災や交通事故による保険を扱うことができ、保険の相談やアドバイスもしてくれます。

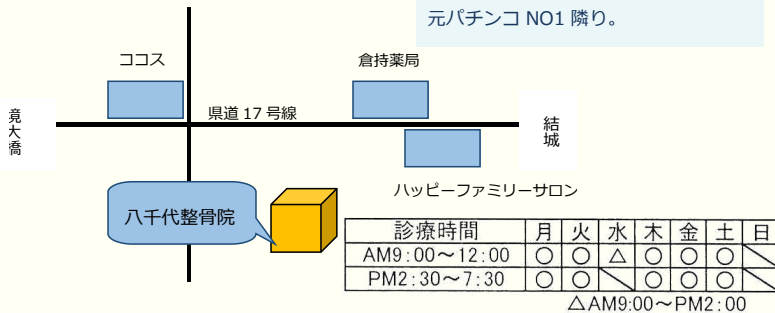
また、捻挫や打撲などの保険診療だけでなく、生活習慣による首、肩、腰、膝等の痛みには、自由診療（保険外）での長時間の施術も行います。

短時間での施術はもの足りない方も多く、大変喜ばれています。施術中はとても気持ち良く、また先生方とのお話も楽しいです。痛み改善へのアドバイスはもちろん、時には境町のお店情報などを教え合うことも。

新メニューとして、足つぼ&ふくらはぎマッサージ、美顔整体&リフトアップ、骨盤矯正、スチームサウナ等々、オール3000円で行っています。

※待ち時間がないように電話予約がお勧めです。無料送迎もご相談ください。

※ドラッグストアクモチ向かい、元パチンコNO1隣り。



御菓子司 大久 境町（山神町）834-4

TEL : 0280-87-0068 定休日:火曜日

営業時間 : 9:00~19:00

「御菓子司大久」は明治創業の老舗和菓子屋さんです。平成11年に現在の店舗へ移転しました。ご主人が製造、奥様が接客をし、ご夫婦でお店を営んでいます。

名物の松皮煎餅は、手焼きならではの絶妙な固さにファンが多く、お土産としても大人気です。味噌まんじゅうも人気商品の1つです。餡は北海道産の小豆を使用。生地には味噌を混ぜ込んであるので、口にした時にほんのりと味噌の風味が広がります。こちらも絶品です。

また、季節に合った商品も店頭に並びます。夏は水まんじゅうや蕨もち、秋にはご主人こだわりの芋ようかんが好評です。イベントやおもてなしに是非どうぞ。

その他の商品も電話注文を承っていますので、お気軽にお問い合わせください。

※松皮煎餅は「道の駅さかい」でも販売しています。「ふるさと納税」の記念品でもあります。

こだわりの心が伝わる逸品の贈り物！



名物の手焼き松皮煎餅は大久さんのオリジナルです

店内

手話通訳士として生きがいを感じる ～ 須藤とよ子さん ～

の資格を持つ人は決して多くはなく、須藤さんも境町で活躍するたった一人の手話通訳士です。



厚生労働省が認定する「手話通訳士」

私は手話通訳の仕事をしています。聴覚障がいを持つ方達と聞こえる人達との間で、情報保障や人間関係の構築等をすること、耳の聞こえない人達が主体的に社会との連帯の中で生きるための役割を担う仕事ですが、病院、学校、職場、家庭、地域行事、県議会、通訳者養成講座の講師など多方面にわたります。

言葉と同様に手話もどんどん多様化していますので、情報収集や研修会などへの参加も重要です。

毎年、町内の小学校に手話指導に行きますが、子ども達が表情豊かに楽しんで手話を学ぶ機会はとても貴重だと感じます。

境町手話サークルは毎月第1・3水曜日の夜7時から9時まで活動しています。（公民館の事情で休みの時もあります。）アットホームな雰囲気、私も昔は3人の子供を連れて参加していました。今も若いお母さん達がお子様を連れて参加してくれます。興味のある方はどうぞお気軽にご参加下さいね。

私の現在の夢は、3年後の茨城国体や、4年後のパリンピックでお手伝いをしたいと思っています。

私のワクワクする夢と、燃える希望についてお話しします。 柿沼美沙子さん（境町塚崎）

私のワクワクする夢と、燃える希望についてお話しします。

「かきくけこどもハウス」という、体験型課外授業のことです。元氣な現役引退者が自分の特技を活かして、子どもたちに学校が教えない手作り主体の授業をしていきます。まずは私が、そんな拠点をつくりたいと思っています。野菜、お米、お花作りから、竹ト

ンボや竹馬といった木工芸、手芸や料理、いろいろな工作……

楽しみながら将来に役立つ「ものづくり」を通して、現代の子どもたちに不足しがちなコミュニケーション

技術も、自然と身についていくはず。教えるお年寄りも生きがいを感じながら、余生をイキイキ楽しむことができます。

ティーチングではなく、

コーチングの中で一緒に考えていくのです。子どもたちは、いろいろ体験することで発信力も身についていきます。

先日来日したウルグアイの前大統領である80歳のホセ・ムヒカさんの夢は、「農業学校」をつくって子どもたちに伝承していくことだそうです。63歳の私も、まだまだ「これからだ！」と思っています。夢と希望に焦点を合わせ、きつちりと動いていきます。

そんな私の夢に賛同してくださるみなさん、どうぞ応援してください。

そして、一緒に学んでいく子どもたちを募集します。子どもたちの可能性を伸ばし、思いっきり羽ばたかせたいとワクワクしています。



カンタン美味しいレシピ 赤菰さんちの タケノコのきんぴら と おまけの一品

材料

- ・筍(切った物) 300g
- ・人参 1/2 本
- ・酒、味醂 大さじ 2
- ・砂糖 大さじ 1
- ・醤油 大さじ 3
- ・胡麻油 大さじ 2
- ・炒りごま 大さじ 1



1. うす切りにした筍と千切りにした人参を胡麻油で炒めます。
2. 酒、味醂、醤油、砂糖を入れ、汁気がなくなるまで炒めます。
4. 仕上げの炒りごまを振って出来上がり。

※もし食べ残ったら、オイスターソースをちょっと入れて春巻きの皮で巻きます。簡単春巻きが出来ます♪。

フライを作った時に溶き卵とパン粉が余ったら…

1. 余った卵とパン粉を混ぜます。a
2. 南瓜又はさつま芋を小さく切ります。b
(紫蘇の実でも美味しいですよ)
3. aとbを混ぜ、塩・胡椒(少々)します。
4. 油で揚げます。

※余り物なので
何個も出来ません。
揚げたらすぐ食べ
ちゃいます。お菓子の
ようです。♪



後記 1

4月に65歳になり、子供達が誕生会をしてくれた。

その時、娘から「いよいよ年金満額？」と言われたのだが、恥ずかしいことに任意加入の時には生活苦で掛ける余裕がなかった。「少ないけど、今もらっているのは結婚前の分」

それでも65歳になって少しは増えるかな？と淡い期待が湧く。

これからいつまで続くかわからない老後。

この年金で出来る事は？ もし、認知症になったら？ もし、寝たきりになったら？ もし、歩けなくなって車イスになったら？ 考えると眠れなくなる。

もう国に期待するのは止めて娘に頼るしかないかな。(M)

後記 2

「きんもくせい」は今号で10号になりました。今までたくさんの方々に助けて頂きました。感謝しております。

素人のわたし達ですので、初めのうちは取材に伺うだけで疲れ果ててしまったことも・・・賛助会員を募ったり、「きんもくせい」をお店や病院等に置いて下さるようお願いするのもいまだに勇気がいります。

取材を通して、高齢や後継者問題で閉店してしまう店もある反面、若い経営者の店も増えてきたと実感しております。これからも境町を応援していきたいと思っています。(E)